

非常時に備えておこう！



- 非常持出品・備蓄品**
 - 非常持出品はリュックなどに入れて、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。
 - 停電、断水などに備えて、備蓄品も準備しておきましょう。
- 家具の転倒予防**
 - 家具は転倒防止器具で固定しておきましょう。重いものを下に入れると倒れにくくなります。
 - 冷蔵庫、テレビ、ピアノなどの固定も忘れずしておきましょう。
- 緊急地震速報**

緊急地震速報を聞いたら…

 - 頭を保護し、机の下などに隠れましょう。
 - 慌てて外へは飛び出さないようにしましょう。

避難や災害時の連絡方法を確認しておこう！

- 家族防災会議**
 - 役割分担、避難場所、避難路(道順)、家族との連絡方法など、あらかじめ家族全員で確認しておきましょう。
- 災害用伝言ダイヤル「171」**
 - 災害によって電話が通じなくなったときのために、NTT 災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」の使用方法

 - 伝言をする… ① 録音する人は自宅の電話番号 → 伝言を吹き込む
※どちらも市外局番から押してください
 - 伝言を聞く… ② 伝言を聞く人は被災地の人の電話番号 → 伝言を聞く

携帯電話災害用伝言板の使用方法

 - 各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く
 - 伝言をする → 「登録」を選択して伝言を入力する
 - 伝言を聞く → 「確認」を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

自分たちの地域は自分たちで守ろう！

- 自主防災組織**
 - 地域の安全を守る自主防災組織に参加し、地域内でのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
- 防災訓練**
 - 地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。
 - 毎年、9月1日は「防災の日」です。
- 災害時要援護者を守ろう**
 - 突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは高齢者や乳幼児、障害者など、なんらかの手助けが必要な人(災害時要援護者)です。地域で協力し合いながら支援していきましょう。

町総合防災訓練を実施

10月22日(土)、町総合防災訓練を河野地区を主会場に町内全域で行います。午前7時頃、日本海沖を震源とするマグニチュード7の地震が発生、その後、津波が到達、さらに原子力災害が発生したと想定し、現実の災害に即した実践的な訓練を実施します。

訓練では、町内各集落において住民避難訓練を行い、併せて役場では職員参集訓練、災害対策本部設置運営訓練および物資供給訓練等を行います。防災訓練への積極的な参加をお願いします。

※中止の際には、一斉告知を行います。

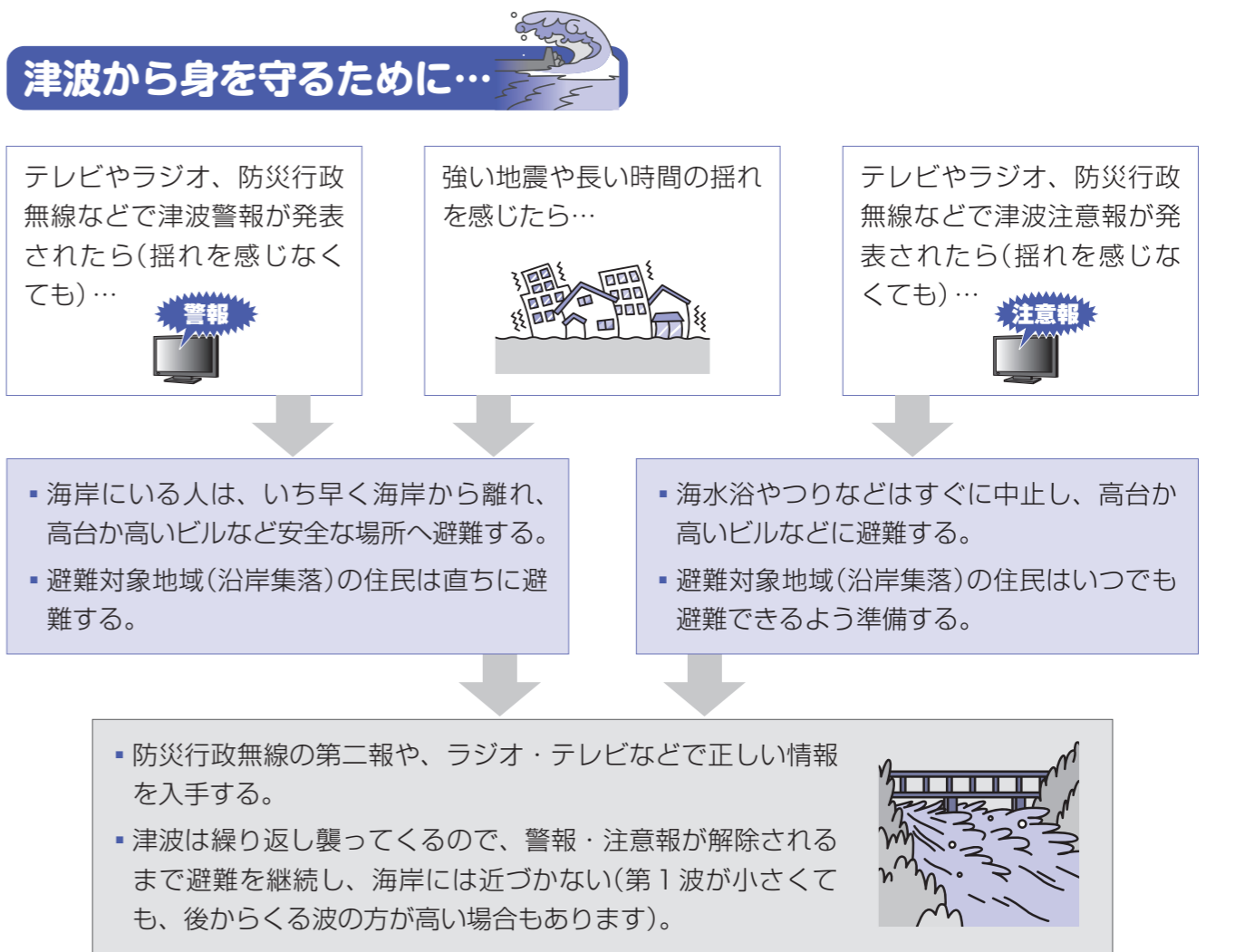
日ごろから災害に備えよう！

■問合せ 総務課 ☎47-8000

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、死者行方不明者約2万人、住宅被害約83万戸(全壊、半壊、一部破損)という甚大な被害をもたらしました。また、8月25日に発生した台風12号は、高知県東部に上陸した後、ゆっくりと北上して四国・中国地方を縦断し、全国各地に甚大な被害をもたらしました。これらの災害は、阪神淡路大震災から16年、福井豪雨・新潟県中越地震からわずか7年しか経っていません。

いつ、どこで、襲われるかわからない災害。地震、台風、集中豪雨、土砂災害など自然災害は思わぬときにやってきて、ときとして大切な命までも奪いかねません。

自然災害を無くすことはできませんが、被害を少しでも減らすことはできます。いざというときにあなたとあなたの家族を守るために、「いまできること、しなければならないこと」を考え、防災対策を確認しておきましょう。



津波から身を守るには、唯一“逃げる”しか方法はありません。